

大阪・関西万博  
EXPO共創事業 特別プログラム  
「Co-Design Challenge2024」

2023年12月21日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

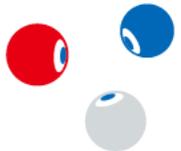
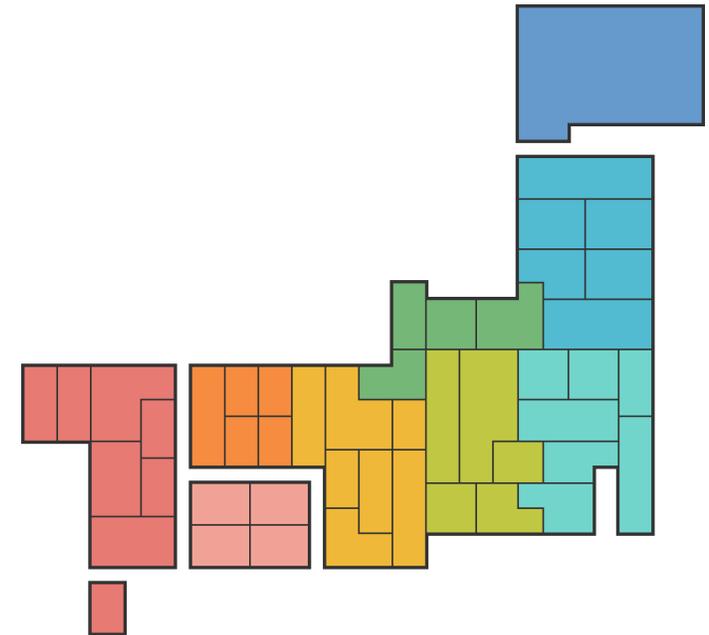


大阪・関西万博を契機に、日本全国それぞれの土地で  
これからの日本のくらし（まち）をつくる

夢洲会場



全国のものづくり産地



テーマ（「Co-Design Challenge」のフォーマット）

**これからの〇〇をデザインする**



背景

社会課題

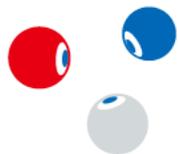


アウトカム

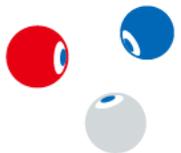
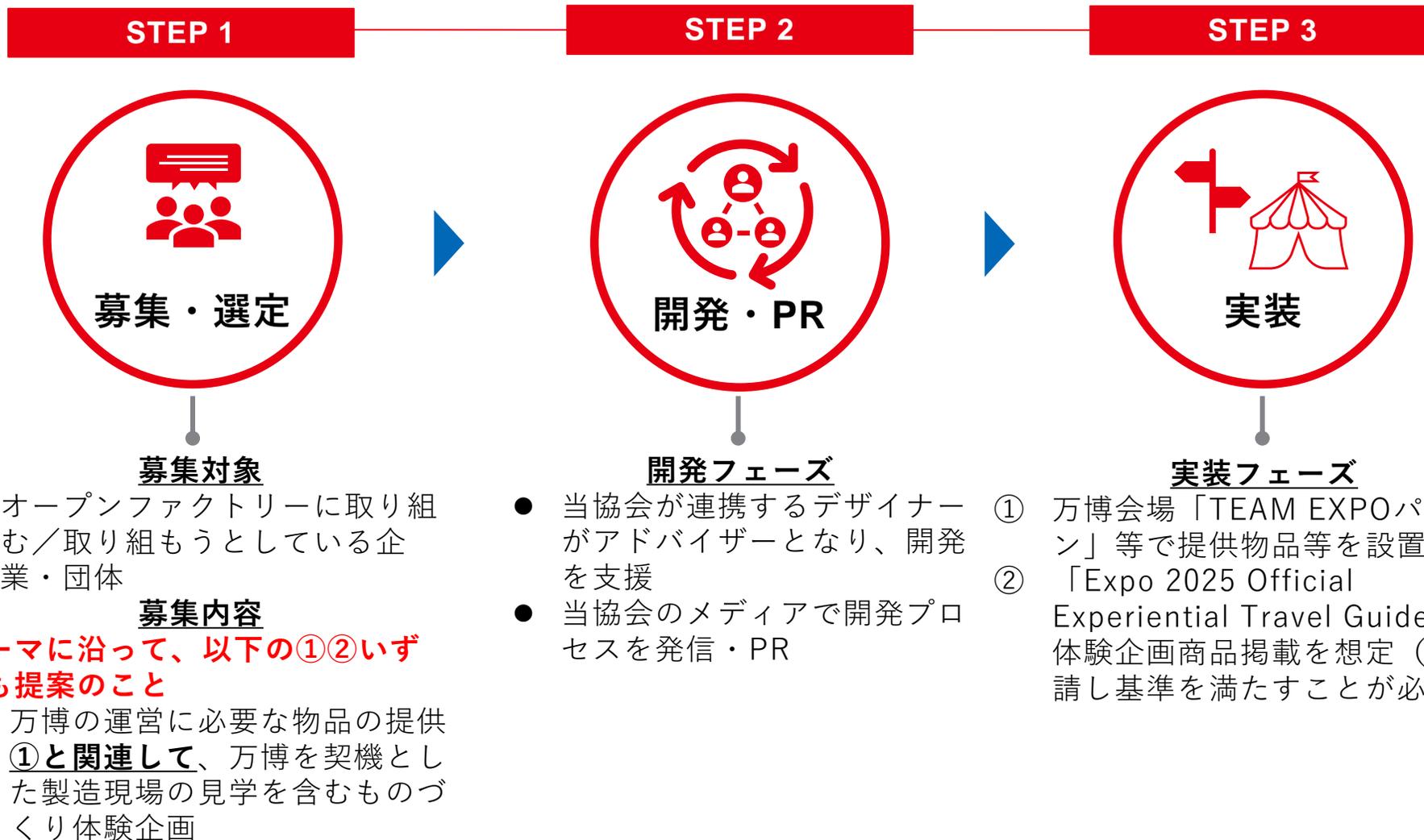
万博が目指す未来社会  
(EODCレポート参照)



- 1.万博を機会として、新しい「何か」をつくること
- 2.共創の取組であること
- 3.デザイン視点で取り組むこと
- 4.大資本でなくとも取り組めること
- 5.地域への誘客に取り組むこと



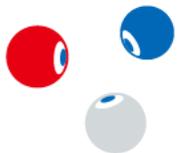
# 「Co-Design Challenge 2024」のプロセス



## 募集内容について

オープンファクトリーに取り組む／取り組もうとしている企業・団体を対象に、テーマに沿って、以下の①、②が一体となった取り組みを募集いたします。

- ① **EXPO共創事業の運営に必要な物品のうち、主にフューチャーライフエクスペリエンスと「TEAM EXPOパビリオン」内に設置する募集物品の提供。**
- ② **万博期間中の地域誘客の取組として提供いただく物品と関連した製造現場の見学を含むものづくり体験企画。**



# 募集物品

No.	アイテム名称	概要
1	椅子	TEステージ客席用
2	ひな壇用クッション	TEステージ客席用
3	テーブル	TEステージ前に設置(ワークショップに利用)
4	ハイチェア	FLEステージ・TEステージ登壇者用
5	ハイテーブル	FLEステージ・TEステージ登壇者用
6	演台	FLEステージ・TEステージ登壇者用
7	ホワイトボード	ワークショップやプレゼンテーションで使用
8	展示台	展示スペース用
9	照明(スタンドライト・フロアランプ)	エリア内各所(エントランス、共有部等)に設置
10	ごみ箱	エリア内各所(屋内)に設置
11	傘立て	エントランスに設置
12	サインスタンド	エントランス案内用(各種展示の案内表示)
13	中庭 設備・備品	中庭に設置 (椅子・テーブル、パラソル、ガーデンソファ等)

# 「Co-Design Challenge 2024」への参加メリット

EXPO共創事業の協賛特典に加え、以下のメリットがあります。

## ① デザイナーによるアドバイス

当協会が連携するデザイナーによる定期的なアドバイス

## ② 完成品の販売

開発した物品は販売可能。当協会も情報発信等により支援

(開発した物品の知的財産権は応募者に帰属)

## ③ ブランディング（完成品の知名度・価値向上）の訴求

当協会ホームページのCo-Design Challenge紹介ページなどで開発のプロセスを発信・PR



# 「Co-Design Challenge 2024」アドバイザー候補

開発にあたっては、当協会が連携するデザイナーによるアドバイスを受けられます。



EODC代表、2025年大阪・関西万博  
EXPO共創プログラムディレクター  
齋藤精一  
/Panoramatiks  
パノラマティクス主宰



内田 友紀  
/YET / Re:public inc.  
リサーチャー、都市デザイナー



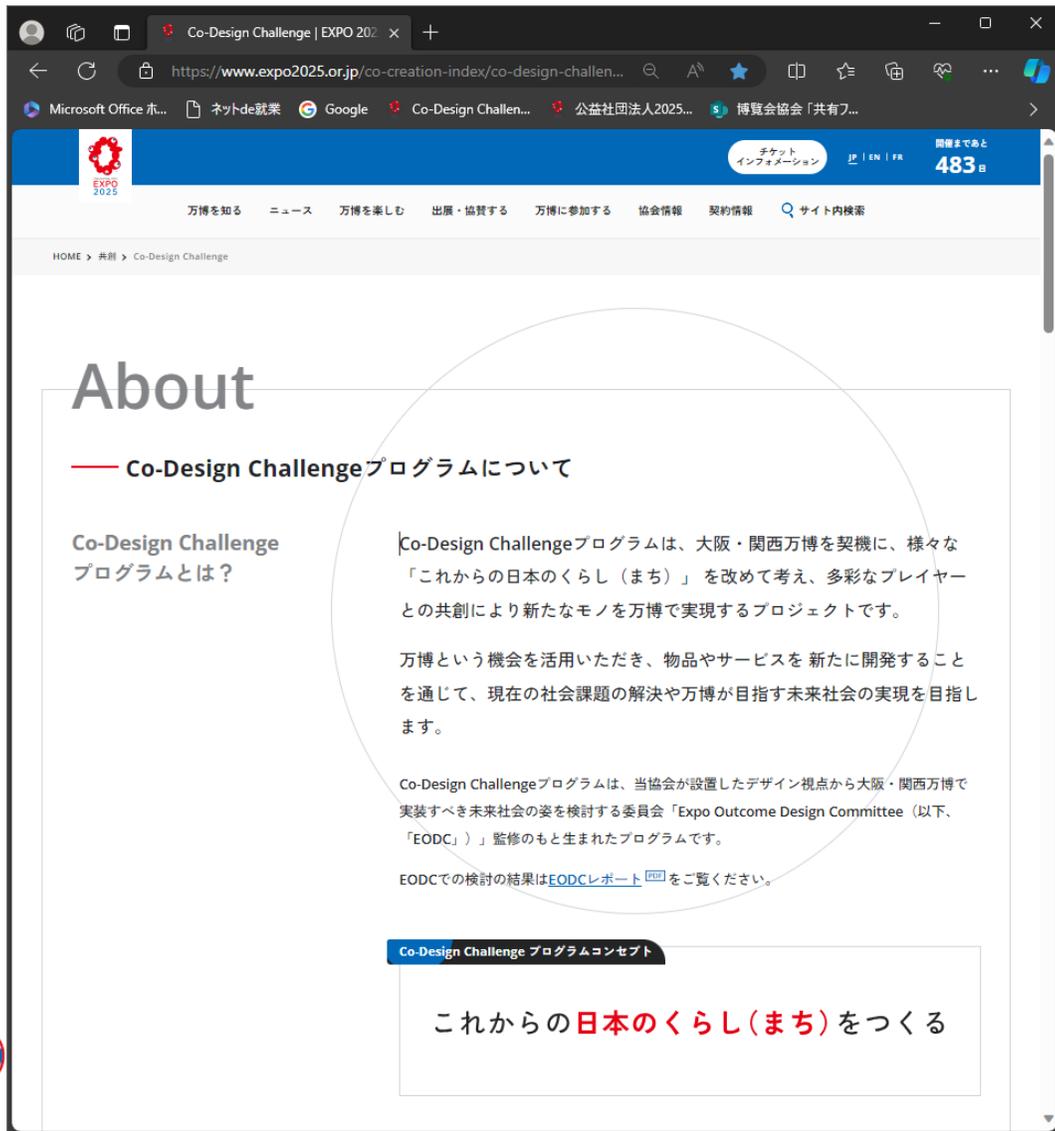
小西 利行  
/POOL INC.  
POOL INC. クリエイティブ・ディレクター  
／コピーライター



山出 淳也  
/Yamaide Art Office  
アーティスト／Yamaide Art Office  
株式会社 代表取締役



# Co-Design Challenge紹介ページ



Co-Design Challenge | EXPO 2025

チケット  
インフォメーション JP | EN | FR 開催まであと 483日

万博を知る ニュース 万博を楽しむ 出展・協賛する 万博に参加する 協会情報 契約情報 サイト内検索

## About

### Co-Design Challengeプログラムについて

#### Co-Design Challengeプログラムとは？

Co-Design Challengeプログラムは、大阪・関西万博を契機に、様々な「これからの日本の暮らし（まち）」を改めて考え、多彩なプレイヤーとの共創により新たなモノを万博で実現するプロジェクトです。

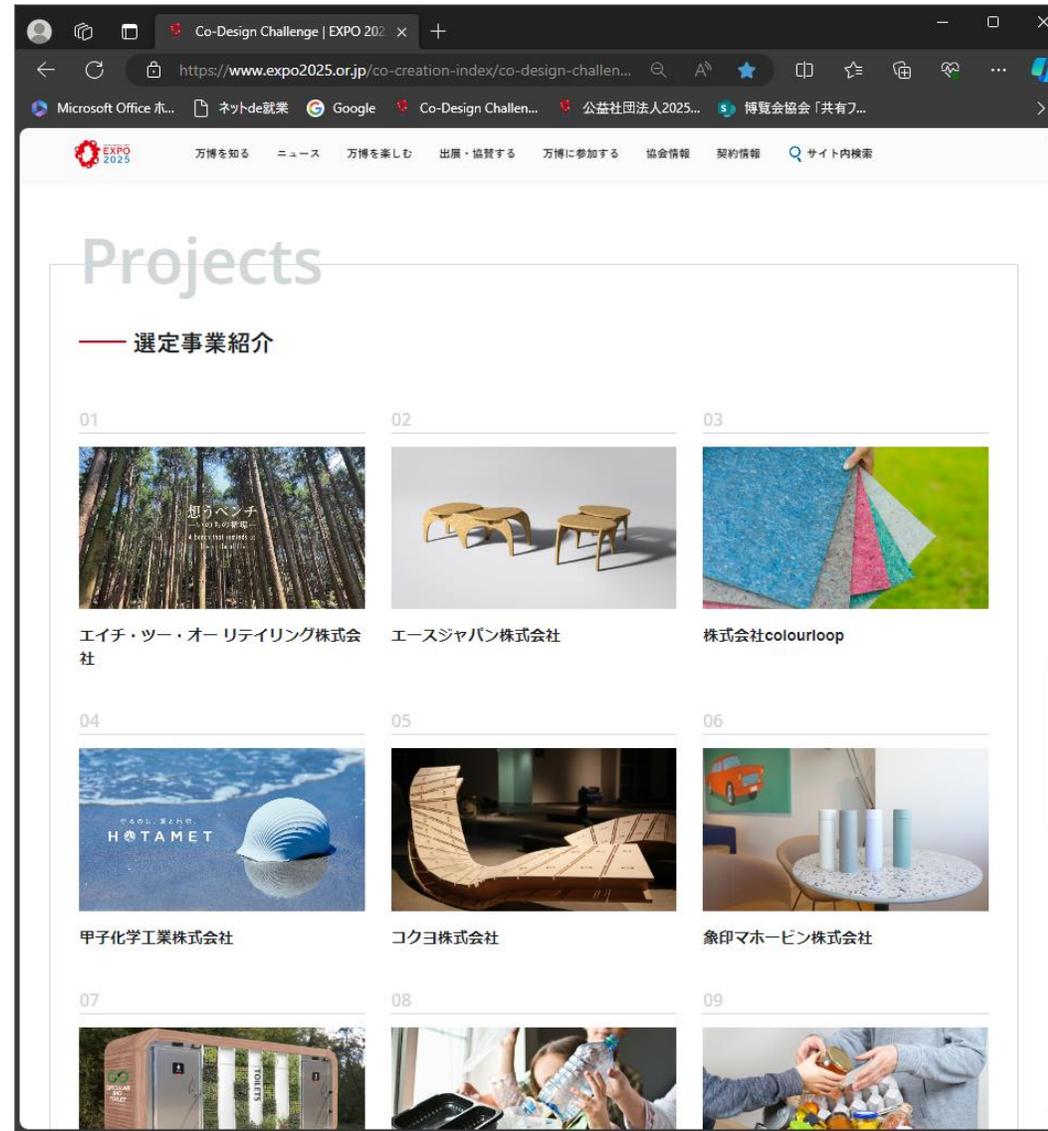
万博という機会を活用いただき、物品やサービスを新たに開発することを通じて、現在の社会課題の解決や万博が目指す未来社会の実現を目指します。

Co-Design Challengeプログラムは、当協会が設置したデザイン視点から大阪・関西万博で実装すべき未来社会の姿を検討する委員会「Expo Outcome Design Committee（以下、「EODC」）」監修のもと生まれたプログラムです。

EODCでの検討の結果は[EODCレポート](#)をご覧ください。

Co-Design Challenge プログラムコンセプト

これからの日本の暮らし(まち)をつくる



Co-Design Challenge | EXPO 2025

万博を知る ニュース 万博を楽しむ 出展・協賛する 万博に参加する 協会情報 契約情報 サイト内検索

## Projects

### 選定事業紹介

- 01  想うベンチ  
エイチ・ツー・オー・リテイリング株式会社
- 02  エースジャパン株式会社
- 03  株式会社colourloop
- 04  H TAMET  
甲子化学工業株式会社
- 05  コクヨ株式会社
- 06  象印マホービン株式会社
- 07  TOILETS
- 08 
- 09 

# 募集物品の主な設置場所

フューチャーライフエクスペリエンス

「未来の暮らし」に関わる問いや提案を持ち寄り発信・共創する場

「TEAMEXPOパビリオン」

つながる万博 — 参加型万博実践の場 —



# (参考) 「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」 概要



「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」とは、インバウンドをはじめとした万博の来場者に対して、万博のテーマに関連した全国各地の体験や過ごし方を提案し、地域への訪問を促すことを目指して、各地域で造成した体験商品を検索、予約・決済までできる観光ポータルサイトです。



スペシャルムービーを見る



地球規模の様々な課題に取り組むために開催される国際博覧会。2025年日本国際博覧会のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。サブテーマは「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」。本サイトでは、この3つのサブテーマに沿った形で、日本の暮らしと食、伝統・文化・歴史、ポップカルチャーといったさまざまな観点から、日本ならではの高付加価値な体験コンテンツを紹介していきます。

## (1) サイト開設期間

2024年4月（予定）から2025年10月31日まで

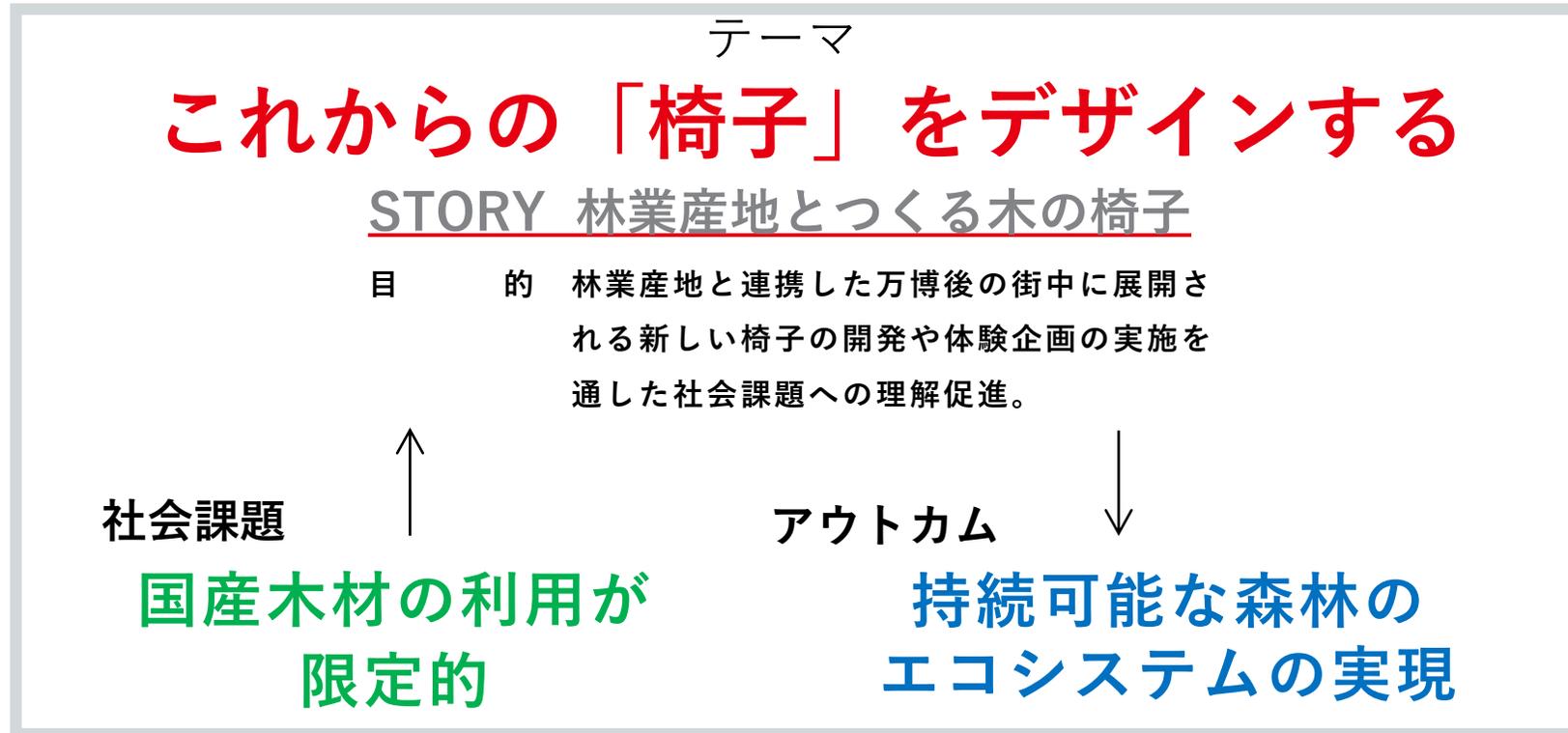
## (2) 主な搭載機能

- ・地域の魅力紹介ページ（スペシャルストーリー・動画）
- ・万博テーマの体験商品販売ページ
- ・地域イベント紹介ページ

## (3) 対応言語

日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語

## 応募イメージ① (例示)

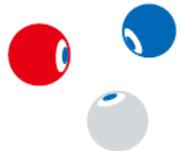


### 物品の展開・活用例

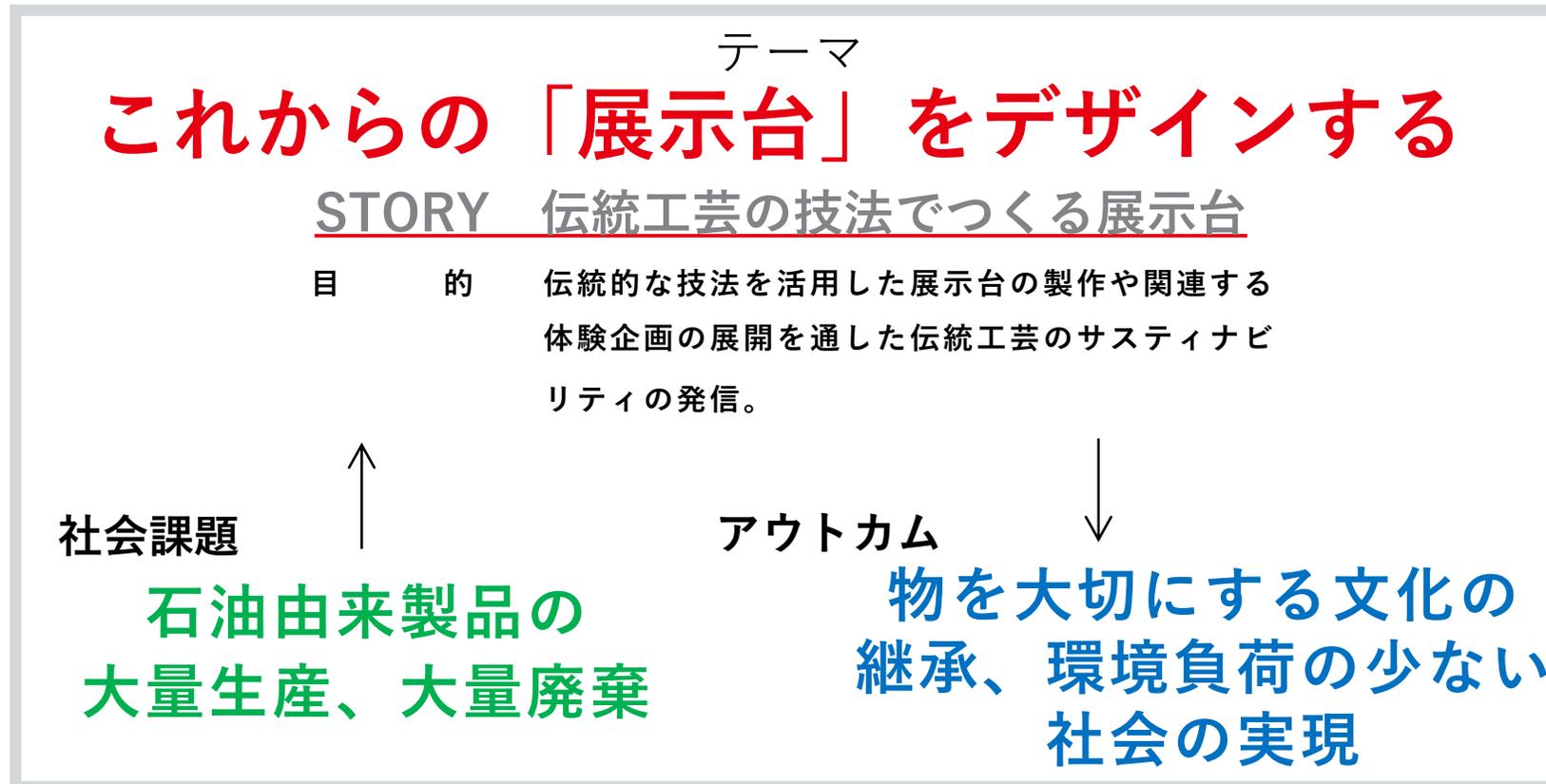
- ・ 地域特産材の活用・プロモーション
- ・ 間伐材・節あり材・根曲がり材などの活用

### 体験企画例

- ・ 木材産地の森林保全に関するレクチャーを含む現場見学と間伐体験
- ・ いす等家具製造工程のアテンド付き見学と地域特産材を使った工芸体験



## 応募イメージ② (例示)

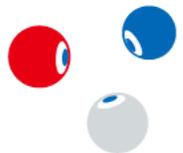


### 物品の展開・活用例

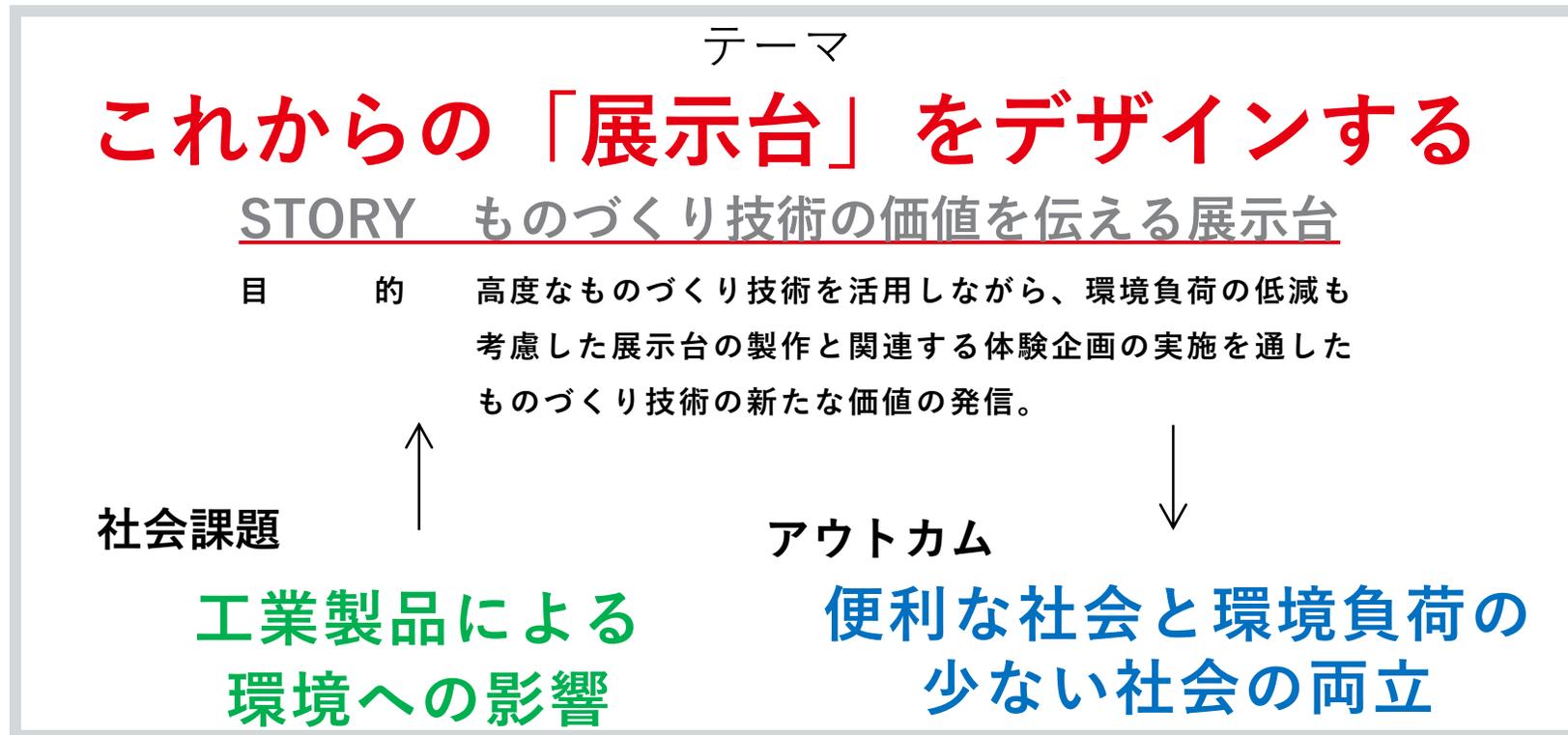
日本の伝統的な技法の活用・プロモーション

### 体験企画例

提案アイテムに関する知識のレクチャー・  
製造現場の見学・製作体験ワークショップ  
を含めた伝統工芸の歴史・文化探訪



# 応募イメージ③ (例示)

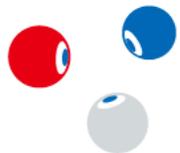


### 物品の展開・活用例

高度なものづくり技術の活用・プロ  
モーション

### 体験企画例

提案アイテムに関する製造現場の見学・  
製作体験ワークショップ、ものづくり技術  
に関する展示鑑賞を含めたガイドツアー



## 応募イメージ④ (例示)

テーマ

# これからの「ベンチ」をデザインする

STORY 廃棄物から生まれるサステナブルなベンチ

目的 これまで廃棄していた資源を活用して万博後に街中に展開するベンチの製作をするとともに関連する体験企画の実施により、環境意識の向上につなげる。

社会課題

活用できる資源の  
大量廃棄

アウトカム

廃棄量の削減による  
資源を有効活用する  
社会の実現

### 物品の展開・活用例

未利用資源の形・風合いを残したまま  
での活用

### 体験企画例

- ・未利用資源の素材化工程のアテンド付き見学と素材を活用した製作体験ワークショップ
- ・提案アイテムに関する製造工程のアテンド付き見学と製作体験ワークショップ



- 募集開始 2023年12月8日（金）
- 質問の受付締切 2024年1月24日（水） 17時まで
- 募集締切 2024年1月31日（水） 17時まで
- 審査・選定 2024年2月～3月
- 選定結果の通知 2024年3月下旬（予定）
- 協賛契約の締結・事業開始 2024年4月以降（予定）
- 選定結果の公表 2024年5月（予定）

